

視点

同時改定にみる 医療・介護連携

令和6年度の同時改定は、医療では生活に配慮し、介護では医療の視点を充実させる理念を共有し、診療報酬と介護報酬で相呼応して整合的な改定がされたことは高く評価できる。

介護保険施設と協力医療機関で実効性ある連携を確保するため、介護保険施設に協力医療機関を義務づける一方、在宅療養支援病院、地域包括ケア病棟等が協力医療機関を担うことが「望ましい」ことを要件とし、平時から急変時の対応方針等を確認しておく、急変時の往診や入院を評価した。

かかりつけ医とケアマネの連携強化のため、地域包括診療料等でケアマネからの相談への対応、サービスマネ担当会議への参加や相談機会の設定を施設基準に追加した。

リハビリの連携では、診療報酬で入院中の実施計画書の提供を、介護報酬でリハビリ事業所に実施計画書を手した計画作成を義務づけ、退院前カンファレンスへのリハ職の参加を評価した。

さらに、介護保険施設での生活を可能な限り継続するため、介護保険施設で医療保険から給付できる医療の範囲を拡大した。

今後、医療介護の複合的ニーズを有する85歳以上人口が急増することを考えると、診療報酬改定も6月施行になり、経過措置や検証の期間確保が窮屈になっており、3年ごとに改めて毎回介護報酬との同時改定にする、双方の報酬で複雑化した個々の連携の評価をわかりつけ医とケアマネを中心に基本報酬の要件として包括的に評価し簡素化する、特養の配置医師の代わりに協力医療機関から入所者に対する在宅医療を幅広く認めるなど、より踏み込んだ本質的な連携方策の検討が必要ではないか。

社会保険旬報

目次

No.2924 2024年4月11日

視点

同時改定にみる医療・介護連携 3

座標

2060年度の医療・介護費を試算
日医の松本会長が出馬表明 4
子ども支援金の平均月額を試算
医師国試の合格率は92.4% 5

論評

韓国の公共病院の現状と
新型コロナウイルスへの対応
伊関友伸 6

保健福祉専門職種等の在り方に関する研究③
複数資格取得のモチベーション等に関する研究動向
黄辰悦 堀真奈美 14

動向

データ数の少ないDPC対象病院の
基礎係数を下げる
—令和6年度診療報酬改定の内容⑤ 20

介護保険制度見直し
電子処方箋普及など重点施策を説明
—令和5年度厚労部局長会議（下） 24

ジュネーヴからの便り⑧

健康志向
中谷祐貴子 33

潮流

医師数は34万3275人で過去最多 34
新たな地域医療構想検討会が初会合 38
8年度医学部定員の上限を了承 39
子ども支援法改正案が国会審議入り 40
後発医薬品の産業構造で報告書骨子 41

NEWS

東総協と東振協が総会 ほか 42

雇用・労働の動き 45

編集室・ワードカプセル 46